CASBEE® 京都-新築　標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE-京都-建築(新築)2018年版 I使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2018（v.1.0）

1-1 建物概要

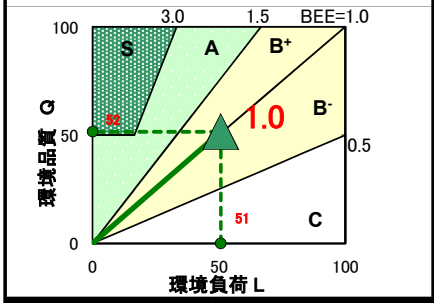
建物名称	(仮称)西洞院通花屋町西洞院町計画	階数	地上4F、地下1F
建設地	京都市下京区西洞院花屋町下る西洞院町455	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	190 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月　予定	評価の実施日	2019年7月17日
敷地面積	1,284.60 ㎡	作成者	株式会社 東洋設計事務所　濱井伸吉
建築面積	915.96 ㎡	確認日	2019年7月17日
延床面積	3,912.97 ㎡	確認者	株式会社 東洋設計事務所　濱井伸吉

1-2 外観

2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

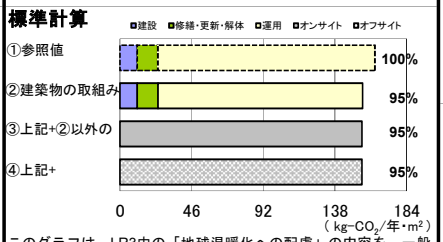
BEE =1.0 ★★★☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



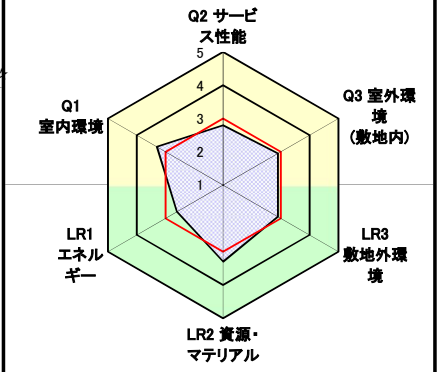
2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは，LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を，一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

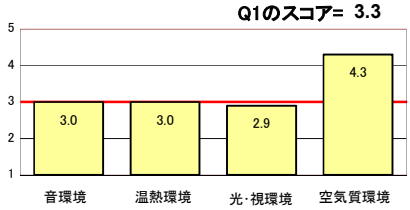
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



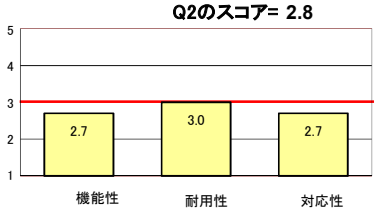
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

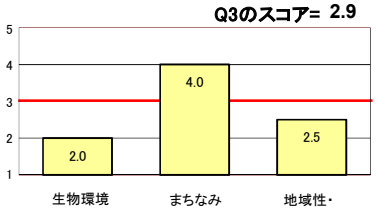
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.3



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 2.8

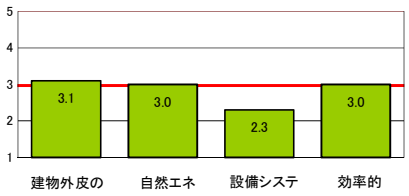


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.9

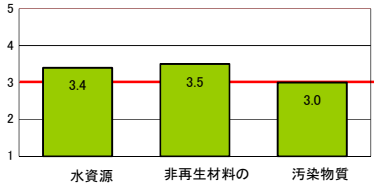


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 2.9

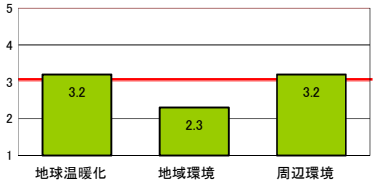
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 2.6



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.3



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.9



3 設計上の配慮事項

総合
中庭を設ける事により客室の採光や換気に配慮している。

その他
特に無し。

Q1 室内環境
客室部のサッシの遮音等級をT-1としている。

Q2 サービス性能
内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。

Q3 室外環境（敷地内）
中庭を設け地被植物（混合コケ）等で風情のある空間を演出している。

LR1 エネルギー
LED照明、太陽光パネルを設置している。

LR2 資源・マテリアル
節水型トイレを使用している。再利用できるユニット部材を使用し、容易に分解・再利用ができる。

LR3 敷地外環境
光害の抑制に努めた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される